

運営推進会議開催報告書

開催予定だった日 令和2年 9月25日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

報告・意見照会者		議 題
利用者	0名	1. 実績報告 2. 看取りについて 3. 身体拘束について
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	3名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	0名	
事業所	3名	

ご意見等のまとめ

1. 実績報告

グループホームらく8月、9月の主な出来事について報告させていただく。

2. 看取りについて

9月8日要介護度2、79歳の利用者様のお看取りをさせていただいた事を報告する。

そのうえで以下の点について、ご意見をいただきました

①病院での検査等による利用者様の病状把握について

- ・本人やご家族の意思が一番だが、病院で検査等を行うのは肉体的、精神的に負担がかかるのではないか？
- ・本人の状態をみて、可能であれば検査を行い、状態の把握を行ったほうがいいのではないか？
- ・主治医と十分に相談し、本人の状態を見て決めた方がいいのではないか？

等のご意見をいただきました。

ホームとしては今後主治医と十分に本人の状態について相談し、検査を行うかを決定していく事になりました。

②最期を迎えるにあたって、苦しみを取り除くためには、ホームにいるよりも入院したほうがより迅速に様々な対応をとれるのでは

- ・やはり本人とご家族の意思が一番なので、事前に想いや希望をしっかりと聞いておいたほうがいい。
- ・慣れた場所、慣れた人がいるホームで最期を迎えるのが一番なのでは？
- ・苦しみを取り除く事については、主治医と十分に連携し、なるべく早く対応してあげてほしい。

等のご意見をいただきました。

ホームとしては、事前にご本人、ご家族の想いと希望をしっかりと聞き、それを汲んだ対応をとっていく事になりました。

ホームで最期を迎える事になった際は、本人の状態について主治医と十分に相談し、苦痛を少しでも和らげられるような対応をとっていきます。

3. 身体拘束について

ベッドで就寝時体動が多い利用者様の四点柵の必要性について

- ・ベッドから落ちて、状態を悪化させるなら必要な時もあるのではないか？
- ・やはり、本人への精神的なダメージを思うと慎重に必要性を考えた方がいいと思う。
- ・大変だと思うが、やはりこまめに巡視する以外にないのでは？

等のご意見をいただきました。ホームとしては身体拘束は行わずに、巡視を増やす対応をとっていきたいと思っています。